

中間評価（案）一覧表（ソフト分野）

番号	領域	タイプ	委託研究テーマとその概要		委託先 (研究代表者)	H18 委託額 (千円)	中間評価 (案)
1			テーマ名	社会心理学に基づくコミュニケーション型TDMに関する研究開発	東京工業大学 (東京工業大学大学院 教授 藤井 聡)	8,000	A
			概要	交通需要施策（TDM：Traffic Demand Management）の実効性を高めるため、モビリティ・マネジメントの本格実施を見据えた、基礎的かつ実務的研究を推進するためのプログラム等の開発を行う。			
1			テーマ名	市民参画型道路計画体系の提案と道路網計画における対話技術の開発	財団法人 計量計画研究所 (東京工業大学大学院 教授 屋井 鉄雄)	8,000	B
			概要	道路構想段階における計画の説明力を向上させるため、対象計画道路と全体道路網計画の論理的関係を明らかにした上で、それらを適切に伝えていく市民参画手法、対話支援システムを研究開発する。			
2			テーマ名	道路機能に対応した性能目標照査型道路計画・設計手法論の研究開発	名古屋大学 (名古屋大学大学院 助教授 中村 英樹)	12,500	A
			概要	道路が担う多様な機能を効果的に発揮させるため、それらの機能毎に性能目標を設定して、道路の計画、設計を行う手法を研究開発する。			
5			テーマ名	集客地の活性化に資する、道路のホスピタリティ表現手法についての研究開発	東京大学 (東京大学アジア生物資源研究センター 教授 堀 繁)	9,500	C
			概要	道路空間の魅力を向上させるため、来訪者の居心地、楽しさ等に関わる要素とその効果を整理する等のホスピタリティ手法の研究開発を行う。			
1			テーマ名	道路の整備・維持管理費用、環境費用を考慮した受益者負担の仕組みに関する研究	一橋大学 (一橋大学大学院 教授 根本 敏則)	8,000	B
			概要	道路整備に係わる新しい受益者負担の仕組みを構築するため、諸外国の制度との比較分析、費用・負担の実態整理を行い、より柔軟な有料道路制度、対距離課金の提案を行う。			
2			テーマ名	駐車デポジット制度による受容性と柔軟性の高い都心部自動車流入マネジメント施策の研究と実証	名古屋大学 (名古屋大学大学院 教授 森川 高行)	16,000	A
			概要	都心部の交通環境を改善するため、ITSを活用して「入域賦課金」と「駐車政策」を組み合わせ、「日本型ロードプライシング」を開発する。			
					計 6 課題	62,000	

* 網掛け部分はH18年度採択の研究課題を示す。

研究継続の妥当性評価

A：計画どおり継続	当初計画は順調に実施され、現行の努力を継続することによって目標達成が可能と評価される。
B：計画どおり継続 (指摘事項あり)	当初目標を達成するためには、評価者からの指摘事項に留意し、一層の努力が必要と判断される。
C：計画を修正の上継続	このままでは当初目標を達成することは難しいと思われるので、評価者からの指摘事項に沿って、当初計画の適切なる変更が必要と判断される。
D：中止	現在までの進捗状況に鑑み、今後の努力を待っても当初計画の達成は困難と思われるので、研究を中止することが妥当と判断される。